

皇居・千鳥ヶ淵の桜とともに、美術館の春を楽しもう！

「美術館の春まつり」

皇居や千鳥ヶ淵、北の丸公園など桜の名所エリアに立地している東京国立近代美術館。散策で巡るのに絶好のロケーションであることから、当館では桜の開花に合わせて春にちなんだ催しを開催します。題して「美術館の春まつり」。当館の代表作の一つである重要文化財・川合玉堂《行く春》を年に一度、春の時期にだけ公開するほか、前庭にお花見を楽しみながらひと休みできるお休み処をご用意し、ドリンク・フードのテイクアウト販売もおこないます。皇居・千鳥ヶ淵はじめ周辺に咲く桜とともに、美術館でも春を楽しんでみませんか。

■期間：2024年3月15日（金）-4月7日（日）

■会場：東京国立近代美術館（東京・竹橋）

展覧会

○所蔵作品展「MOMAT コレクション」

1月23日（火）-4月7日（日） 4-2階 所蔵品ギャラリー

19世紀末から今日にいたる日本近代美術の流れがご覧いただける所蔵作品展「MOMAT コレクション」では、13,000点を超える所蔵作品の中から選りすぐりの約200点を、12の展示室ごとにテーマをもうけてさまざまな切り口でご紹介します。

水面に散る長瀬の桜を描いた重要文化財、川合玉堂《行く春》を、年に一度、春の時期にだけ公開します。また、雨に濡れる吉野の桜が抒情を誘う菊池芳文《小雨ふる吉野》のほか、児玉靖枝、日高理恵子ら現代作家による春にちなんだ作品を展示します。染色家・芹沢銈介の作品を一室にずらりと集めた特集展示も見どころです。鮮やかな型染カレンダーからは、春夏秋冬の四季の移ろいを堪能できることでしょう。

千鳥ヶ淵や美術館周辺の桜とともに、美術館で味わう春を是非お楽しみください。



01

同時開催

○企画展「中平卓馬 火一氾濫」 2月6日（火）-4月7日（日）、1階 企画展ギャラリー

○コレクションによる小企画「新収蔵&特別公開|ジェルメーヌ・リシエ《蠟》」 1月23日（火）-4月7日（日）、2階 ギャラリー4

さまざまな催し

○春まつり期間中も所蔵品ガイド開催！ナイトトーク、英語によるトークも。

みなさまとの対話を楽しみながらガイドスタッフおすすめの作品を鑑賞する所蔵品ガイドを、春まつり期間中、開館日の毎日11:00より実施します。教育普及担当スタッフによるナイトトーク、英語でのトークも開催！



02

○お花見しながらひと休み

前庭にお休み処をご用意。また、レストラン「ラー・エ・ミクニ」によるキッチンカーを出店、ドリンクや特製フードのテイクアウト販売も。



03



04

○「美術館の春まつり」ポップアップショップ

期間限定でポップアップショップを出店。チケットファイルなど春らしいオリジナルグッズを販売します。

報道関連のお問合せ先

東京国立近代美術館 広報担当

〒100-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1

Tel: 03-3214-2597 Fax: 03-3214-2577 E-mail: pr@momat.go.jp



■「美術館の春まつり」開催概要

○所蔵作品展「MOMAT コレクション」 1月23日(火) - 4月7日(日)、4-2階 所蔵品ギャラリー

観覧料：一般 500円、大学生 250円(金曜・土曜の17時以降は一般 300円、大学生 150円)

※高校生以下および18歳未満、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方とその付添者は無料。

※所蔵作品展入館当日に限り、コレクションによる小企画「新収蔵&特別公開 | ジェルメーヌ・リシエ《蟻》」もご覧いただけます。

※期間中展示替えがあります。春にちなんだ作品の一部は、2月27日(火)からの展示になります。

○参加型イベント

「MOMAT ガイドスタッフによる 所蔵品ガイド」 「美術館の春まつり」期間中・開館日の毎日11:00- (各回50分程度)

MOMAT ガイドスタッフが選んだ展示作品3点程度を、対話を交えて鑑賞します。ガイドスタッフやほかの参加者の方との対話を楽しみながら鑑賞することで、作品の新たな一面に出会えるかもしれません。「美術館の春まつり」期間中、毎日実施します。

※申込不要、参加無料(要観覧料)。3階エレベーター前ホールに集合。

「春まつりナイトトーク」 3月15日(金)、22日(金)、29日(金)、4月5日(金) 19:00- (各回30分程度)

教育普及担当スタッフによるギャラリートーク。MOMAT コレクション展示室(所蔵品ギャラリー)より、各回それぞれテーマを決めてお話しします。各回のテーマ、担当者などの詳細はウェブサイトにてお知らせします。

※申込不要、参加無料(要観覧料)。

「Let's Talk Art! -Spring Festival in MOMAT」

3月15日(金)、19日(火)、21日(木)、22日(金)、23日(土)、26日(火)、28日(木)、4月5日(金) 11:00-12:00- (各回20分程度)

「美術館の春まつり」から川合玉堂《行く春》、加山又造《春秋波濤》のどちらか一作品を、英語で鑑賞します。どちらを鑑賞するかは当日のお楽しみ!

※申込不要、参加無料(要観覧料)。4階エレベーター前ホールに集合。 ※英語で実施します。



川合玉堂《行く春》1916年 重要文化財 05:左隻 06:右隻 07:全図

○桜が見える前庭に、床几台によるお休み処をご用意します。また、三國清三シェフがプロデュースするレストラン「ラー・エ・ミクニ」によるキッチンカーを出店。特製お花見弁当やドリンク各種などのテイクアウト販売を予定、お休み処や2階テラスでお楽しみいただけます。散策や鑑賞のひと休みに、桜を眺めながらのひとときをお過ごしください。

○1階エントランスに「美術館の春まつり」ポップアップショップを出店。桜や花の作品をあしらったチケットファイルやマグネット、一筆箋など、春らしいオリジナルグッズを販売します。



08 特製お花見弁当

※画像はイメージです。実際の内容は異なる場合がございます。

○「美術館の春まつり」特設ウェブサイトを開設予定。春まつり展示作品や美術館周辺情報などを紹介します。 ※2月中旬に公開予定(<https://www.momat.go.jp/extra/2024/springfest/>)

報道関連のお問合せ先

東京国立近代美術館 広報担当

〒100-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1

Tel: 03-3214-2597 Fax: 03-3214-2577 E-mail: pr@momat.go.jp





09 パウル・クレー
《花ひらく木をめぐる抽象》
1925年



10 児玉靖枝
《ambient light — sakura》
2002年



11 芹沢銈介
《1962年のカレンダー(3月)》
1961年 国立工芸館蔵



12 芹沢銈介
《1968年のカレンダー(3月)》
1967年 国立工芸館蔵



菊池芳文《小雨ふる吉野》1914年 13:左隻 14:右隻 15:全図
【展示期間:2月27日(火)–4月7日(日)】

■同時開催

○企画展「中平卓馬 火一氾濫」 2月6日(火)–4月7日(日)、1階 企画展ギャラリー

日本の戦後写真史において大きな足跡を残した写真家・中平卓馬(1938–2015)。本展は、初期から晩年まで約400点の作品・資料から、中平の写真をめぐる思考と実践の軌跡をたどる、待望の大回顧展です。

観覧料:一般1,500円、大学生1,000円

※高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方とその付添者は無料。

※「中平卓馬 火一氾濫」観覧料で、入館当日に限り、所蔵作品展「MOMATコレクション」、コレクションによる小企画「新収蔵&特別公開|ジェルメーヌ・リシエ《蟻》」もご覧いただけます。

○コレクションによる小企画「新収蔵&特別公開|ジェルメーヌ・リシエ《蟻》」 1月23日(火)–4月7日(日)、2階 ギャラリー4

第二次大戦後における女性彫刻家の先駆的存在の一人で、近年その再評価が急速に進んでいるフランスの彫刻家ジェルメーヌ・リシエ(1902–59)。リシエの彫刻《蟻》(1953年)を初公開します。

観覧料:企画展「中平卓馬 火一氾濫」、所蔵作品展「MOMATコレクション」の観覧料でご覧いただけます。

■美術館概要

会場:東京国立近代美術館 東京都千代田区北の丸公園3-1

アクセス:東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b出口)徒歩3分

休館日:月曜日(ただし3月25日は開館)

開館時間:10:00–17:00(金曜・土曜は20:00まで) いずれも入館は閉館の30分前まで

主催:東京国立近代美術館、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

お問い合わせ:050-5541-8600(ハローダイヤル) 美術館ウェブサイト:<https://www.momat.go.jp>



令和5年度日本博2.0事業(委託型)

報道関連のお問合せ先

東京国立近代美術館 広報担当

〒100-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

Tel: 03-3214-2597 Fax: 03-3214-2577 E-mail: pr@momat.go.jp

